

「指揮」
瀬山智博

Tomohiro Seyama, Conductor

新春を寿ぐ「新世界交響曲」

21世紀の 新世界

"From the New World"

「ピアノ」
松田華音

Kanon Matsuda, Piano



© Ayako Yamamoto



© Gerhard Peyrer

チャイコフスキー：
歌劇「エフゲニー・オネーギン」より
“ポロネーズ”

チャイコフスキー：
ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 op.23

ドヴォルザーク：
交響曲 第9番 ホ短調
「新世界より」 op.95



© s.yamamoto

「管弦楽」 関西フィルハーモニー管弦楽団

Kansai Philharmonic Orchestra

2025 1/11 (土) 2:00pm開演 (1:00pm開場) ザ・シンフォニーホール

7/28(日)発売

A 5,500円 B 4,500円 C 3,000円(消費税込) 主催/朝日友の会、ABCびあ 後援/朝日新聞社 協力/ザ・シンフォニーホール

■アスク プレイガイド 06-6222-1145 [10:00~17:30(土日祝定休)]

■ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 [火曜定休]

■チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:272-915]

■ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:54380]

■CNプレイガイド 0570-08-9990

■e+(イープラス) <https://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

■ABCびあ (webで予約・購入)

ABCびあ 検索 携帯サイトはこちら▶▶▶

<http://abc-ticket.pia.jp/>

座席選択が可能! 24時間購入できる! クレジット決済も可能!!
メルマガで優先予約をご案内!! 1度登録すると次回予約が簡単!!

※未就学児童のご入場はお断りいたします。

※出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。



お問い合わせ

ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

[平日10:00~17:30] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

公演情報は、〈ABCクラシックガイド〉のホームページへ
<https://www.asahi.co.jp/symphony/>

券別料金

21世紀の新世界

清々しい新年の空気の中、ザ・シンフォニーホールで音楽の“初感動”をお楽しみいただく「21世紀の新世界」、今回も世界に羽ばたく俊英が初春の舞台に登場です！

モスクワ音楽院在学中に名門ドイツ・グラモフォンからCDデビューするという傑出した経歴のピアニスト、松田華音。血肉となっているチャイコフスキーの不朽の名作を披露します。

マエストロ瀬山と関西フィルは、毎年“新世界交響曲”の新たな魅力を模索し続けています。タッグを組んで9年目になる2者が描き出す、名曲の横顔に期待しましょう。

音楽界の未来を担う俊英が繰り広げる、艶やかな新年の舞台をお楽しみください。



© Gerhard Peyrer

瀬山智博 [指揮]

Tomohiro Seyama, Conductor

これまでにドイツ・マグデブルグ歌劇場、デッサウ・アンハルト州立歌劇場、スイスのヴィンタートゥール歌劇場などの歌劇場で指揮者を務め、オペラとシンフォニーの両分野において国際的な活動を続けている。2008年にドイツのアーヘン市立歌劇場のコレペティートルとして活動開始。2009年にウィーンのシェーンブルン宮殿歌劇場でモーツァルトの「ドン・ジョヴァンニ」を指揮してヨーロッパデビュー。その後、ブレゲンツ音楽祭、グラフェネック音楽祭やトリノ王立歌劇場においてアシスタント指揮者を務め、2016年からはドイツ・マグデブルグ歌劇場のカベルマイスター（専属指揮者）として活動。ピゼー「カルメン」、ニコライ「ウインザーの陽気な女房たち」、ロルツィング「密猟者」など、数々の公演を指揮し好評を博した。2003年からウィーン楽友協会合唱団のメンバーとして研鑽を積み、同合唱団コレペティートルとして活動。2018年からはトーンクンストラー管弦楽団アシスタント指揮者、ウィーン少年合唱団の指導を務めるなど活動の場は多岐にわたる。

ヨーロッパではこれまでにBBC交響楽団、ウィーン室内管弦楽団、ソフィア祝祭管弦楽団、ドイツ・マグデブルグ・フィルハーモニー管弦楽団、デッサウ・アンハルト州立管弦楽団、ムジークコレギウム・ヴィンタートゥールなどを指揮。日本国内では東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、日本センチュリー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、広島交響楽団、九州交響楽団など、多数のオーケストラと共演を重ねている。

3歳よりメキシコシティで音楽教育を受け始める。大阪音楽大学ピアノ科、ウィーン国立音楽大学指揮科、同大学院修了。指揮を故湯浅勇治、故小澤征爾、レオポルト・ハーガー、ウロシュ・ライオヴィチ、ファビオ・ルイジの各氏に師事。シエナ・キジャーナ音楽院オーケストラ指揮ディプロマ取得。シカゴ・ショルティコンクールセミファイナリスト、プザンソン国際指揮者コンクールファイナリスト。2019年よりオペラ・ノヴェッラ指揮者、2021年よりノマドオペラ音楽監督を務める。近年はウィーン少年合唱団の指導、ウィーン国立歌劇場合唱団コレペティートルを務めるなど、多岐にわたる活動をしている。テレビ朝日「題名のない音楽会」出演。ABCラジオ「堀江政生のザ・シンフォニーホール・アワー」最多出演回数更新中。

松田華音 [ピアノ]

Kanon Matsuda, Piano

香川県高松市生まれ。4歳で細田淑子に師事、ピアノをはじめ。2002年秋、6歳でモスクワに渡りE.P.イワノワ、M.ヴォスクレセンスキー、E.ヴィルサラーゼ各氏に師事、翌年ロシア最高峰の名門音楽学校、モスクワ市立グネーシン記念中等（高等）音楽専門学校ピアノ科に第一位で入学。2004年 エドヴァルド・グリーグ国際ピアノ・コンクール（モスクワ）、グランプリ受賞。2006年 TVロシア文化チャンネル主催、くるみ割り人形国際音楽コンクール、ピアノ部門第一位受賞。2009年 AADGT 国際Young Musician Competition（ニューヨーク）第一位受賞。2010年 才能ある青少年の国際コンクール&フェスティバル「クラシカ2010」グランプリ受賞（カザフスタン）。2011年12月、国立アレクサンドル・スクリャーピン記念博物館より2011年度の「スクリャーピン奨学生」に選ばれる。2013年2月、モスクワ市立グネーシン記念中等（高等）音楽専門学校で外国人初の最優秀生徒賞を受賞。翌年同校を首席で卒業。同年9月、モスクワ音楽院に日本人初となるロシア政府特別奨学生として入学し、2019年6月首席で卒業した。（グネーシン、モスクワ音楽院共に、ロシアで成績優秀者に贈られる「赤の卒業証書」を授与された。）同年、モスクワ音楽院大学院に入学、2021年6月修了。2014年11月ドイツ・グラモフォンよりCDデビュー。2017年6月に2枚目のアルバム「展覧会の絵」をリリースした。オーケストラとの初共演は8歳。これまでにミハイル・プレトニョフ、ワレリー・ゲルギエフ、アンドレア・バッティストーニ、ピエタリ・インキネン、秋山和慶、円光寺雅彦、尾高忠明、小林研一郎、高関健、飯森範親各氏などの指揮者、ロシア・ナショナル管弦楽団、ロシア国立交響楽団、キエフ国立フィルハーモニー交響楽団、マリインスキー歌劇場管弦楽団、ブラハ交響楽団、京都市交響楽団、札幌交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、大阪交響楽団などと共演。2020年12月には井上道義氏指揮NHK交響楽団と伊福部昭作曲リトミカ・オスティナータを、2021年11月にはNHK音楽祭にて飯森範親氏指揮日本センチュリー交響楽団とシCHEDリン作曲ピアノ協奏曲第1番を演奏し、どちらも全国放送され、高く評価された。2018年かがわ21世紀大賞受賞。

公式HP：<https://www.japanarts.co.jp/artist/kanonmatsuda/>



© Ayako Yamamoto

関西フィルハーモニー管弦楽団 [管弦楽]

Kansai Philharmonic Orchestra

1970年に発足、2018年公益財団法人化。世界的ヴァイオリニストでもあるA.デュメイ音楽監督のもと、首席指揮者の藤岡幸夫、首席客演指揮者の鈴木優人と共に、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開している。故飯守泰次郎（2023年8月没）は常任指揮者、桂冠名誉指揮者を務めた。2021年度・2022年度音楽クリティック・クラブ賞本賞受賞。2023年10月には、楽団2度目となる欧州公演（3カ国3都市）を開催し、各地で大きな注目を集めた。BSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」（毎週土曜朝8:30〜）に藤岡幸夫と共に出演中。オフィシャル・ホームページ：<https://www.kansaiphil.jp/>



© syamamoto